



げんきだより

きゅうり大
いのみっけ!



令和4年9月1日発行 子育て支援センター 文責 加藤 弥生



8月は気温差が激しい月でした。体調など崩さず過ごせたでしょうか。隣接する学童には、夏休みという事で朝から小学生が宿題をしたり遊んだり、賑やかな様子がありました。子育て支援センターでは、天気の良い日は、「うさぎさんに餌あげに行こう」「トマト取りに行きたいな～赤くなっているかな?」と嬉しそうに畑に出かけていき、次の日には「キュウリおいしかった」「トマト甘かったよ」と報告がありました。来年が楽しみです。又、年齢や月齢の違うお子さんをもつお母さん方で、育児についての情報を交換し合う様子が沢山見られました。成長の過程で何歳頃からどんな事が出来るようになるのか等々、育児に奮闘中のお母さん同士だからこそ様々な工夫や、共感できる話が聞かれました。子育ては、山あり谷あり! 容易にはいかないものです。子育て支援センターでは、共に子育てをしているお母さん同士が、子育てで悩んだ時、ちょっぴり疲れを感じた時、育児の話をしながら助け合っていける場として子育てを支援していきたいと思えます!



8月の様子

8月誕生会オカリナ演奏



何にしますか



赤ちゃんの日



おいしいね



やりたいな

どうぞ!



トランポリンの日

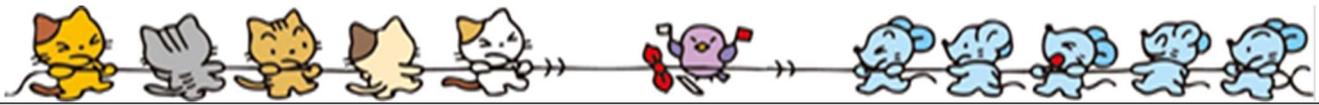
日	月	火	水	木	金	土
今月の予定						
				1 げんきだより発行	2	3
4	5	6	7	8 森のともだち (瓜幕保育所) ※午前中は広場の 利用ができません	9 赤ちゃんの日 10:00~11:30 ※午前中は広場の 利用ができません	10
11	12	13	14 トランポリンの日 11:00~11:45 13:30~14:30	15	16	17
18 休日一時保育	19 休日一時保育 敬老の日	20	21	22 親子バス遠足 ※午前中は広場の 利用ができません	23 秋分の日 休日一時保育	24
25 休日一時保育	26	27 9月生まれの誕生会	28	29 運動会 10:00~12:00 ※午前中は広場の 利用ができません	30 はじめましての日 13:00~17:00 ※午後から広場の 利用ができません	

★新型コロナウイルス感染防止の為、行事については申し込みが必要です。子育て支援センターまでご連絡下さい。

★午後からは新型コロナウイルスの感染防止として、密を避けるためにご協力をお願いします。

月曜日…0・1・5歳児 火曜日…0・1・2歳児 水曜日…2・3歳児 木曜日…3・4歳児
金曜日…4・5歳児 1回5組

※兄弟については、一緒にあそんで構いません。※育児相談は午後からも随時受け付けております。



～お知らせ～

運動会…9月29日に未満児園庭（アンパンマンの遊具がある園庭）で「かけっこ」等、様々な競技を親子で楽しみたいと思います。定員 10組

※午前中広場の利用はできません。雨天中止。※申し込み締め切りは9月16日（金）までです。親子バス遠足・帯広児童館を予定していますが、コロナの状況によって中止になることもあります。



最近広場で遊んでいると、お友達が持っているものばかりほしくなりトラブルも多くなってきています。「家でもそうです」「いくらダメって言ってもやるんですよ」という声がありました。そこで0・1・2・3歳児を育てる親子のための子育て応援ブックから『子ども同士の関係を見守る』を紹介します！

※「どうぞ」は自分が満足してから

日本の親たちは、わが子が相手に「どうぞ」できることをとても期待します。自分よりも他人にゆずってあげることが美徳とする文化があるのかもしれませんが、1、2歳くらいの子は、「どうぞ」なんてできなくても大丈夫です。といいますか、自分の気分で「どうぞ」すれば十分です。むしろもっと遊びたいのに、ほしいのに無理して「どうぞ」させてしまうことで、その子の「満足」が犠牲になってしまうことの方が残念です。

子どもは（大人もですが）「ほかの人が持っているもの」を欲しくなります。だから、取りあいが起こります。ある玩具Aを投げて、別なもので遊んでいたのに、ほかの子が玩具Aに近づいたとたん、「ダメ」とか言ったりします。だから、このくらいの子どもたちには同じものが人数分以上ある環境が適切だと思います。

※物の取り合いはお互いの子供の育ちの機会

みんなのものは私のもの。みんなの中にも私も入っていますので、間違いではありません。物の取り合いを通して、両方の子どもに社会性、コミュニケーション力、交渉力などが育ちます。

まずは「あなたも使いたいんだね」とわが子の気持ちを受け止めてあげます。その上で「〇〇ちゃんも使いたいんだって」と「貸して！って言うてみようか」「終わったら貸してもらおうね」と見通しを持たせつつ気持ちを切り替えてあげましょう。

そして大事なことは、貸した時には、たくさん褒めてあげましょう。又貸してもらった子にも貸してもらい良かったね。「貸してって言われたら貸してあげようね」と認めていくことも大事だと思います。広場の中でもこういう場面はありますが、お母さんたちの言葉かけは、「さすが」と思うこともあります。そうやってみんなで育ちあう子育て支援センターでありたいですね。

※トラブル

1歳を過ぎてくると、子どもどうしでの「ものの取り合い」が見られるようになってきます。それをきっかけにかみついたり、ひっかいたりということが起こります。自我がめばえ、自分という意識を持つようになってくると「自分のもの」という心が育ちます。赤ちゃんさえ、お母さんが別の赤ちゃんを抱っこしているのを見るといたたまれない表情をしたり、泣いたりすることもあります。1歳になれば、もっと所有意識が高まっていきます。いつも自分が座っている椅子にほかの子が座っていると、急いで行って押し倒すということもあり、大人はハラハラするものです。

これらの行動は、その回数や強さに個人差がありますが、だいたいみんな通る道すじです。社会的な経験としてほかの子とのトラブルはとても大切で、小さなときにはそんなに大きなけがになったりしません。ですから物の取り合いとか、トラブルが起こった時には、まず見守ってあげてほしいのです。そうして、子ども同士でどこまで解決できるのかを見定めて、いよいよ必要なら助け舟を出します。ものを取られて泣いた子がいれば、その子をなぐさめてあげましょう。大人が代わりに相手に謝るなどして、取った子を責めすぎないのも大切です。取った子は「悪い子」ではなく「ほしかった子」なのです。その子なりに、泣かせた子のことを気にしていることも多いのです。気づいているようなら「〇〇ちゃん泣いているね、もっと使いたかったのかな」とか、さりげなく言うておくのも良いかもしれません。



鹿追町子育て支援センター

〒081-0216

鹿追町鹿追北2線8番地

TEL 0156 (66) 1165

FAX 0156 (66) 2167